

裁判官出身弁護士×企業出向経験弁護士×外部弁護士で語り尽くす！

契約をめぐるトラブルの対処法

～その備えは、裁判所にどう映るか～

セミナー番号:11231201



株式会社
商事法務

——判事として第一線で訴訟を担当してきた弁護士、企業の法務部の「内側」を知る弁護士、そして、外部弁護士として、企業法務部からのご相談や訴訟案件の依頼を受けてきた弁護士が、契約交渉・契約書作成の勘所、裁判官に見える風景を具体的かつ実践的に解説し、パネルディスカッションでもう一步踏み込んだところを語り尽くす。

主要講義項目

第1部 契約書レビューにおける法務部の役割

—想像力と対応力で戦える契約書を作る

- 1 契約ドラフト・レビューと「リスク」の想像・視覚化
- 2 契約交渉過程と「足跡」づくり
- 3 「リスク」検討は十分だったか
・・・契約条項の作り込みが分けた結論・・・

第2部 裁判実務における契約の解釈

—裁判官には何が見えているのか

- 1 証拠となる契約書をみたとき
～裁判官は何に注目するか
- 2 契約交渉過程と最終契約書の位置づけ
- 3 裁判官を悩ませる難件と契約条項
- 4 契約条項の解釈が分かれる場面
～モデル事例に基づいて

第3部 パネルディスカッション

—法務部・弁護士の努力は報われる？
実際どうなんですか裁判官！

第2部のモデル事例等を素材にしながら、ディスカッション形式で、次の点などを取り上げる予定です。

- ・契約交渉過程の詳細を残すことは役に立つか？契約書外の合意の意義
- ・法務部・弁護士が努力した結果の契約条項～裁判官はどう解釈するか
- ・契約実務書で説かれていることと訴訟の実際
- ・契約当事者の属性や規模が契約条項の解釈に影響するか
- ・裁判官によって判断は異なる？ など。

(講義時間：約3時間 [講義+質疑応答])

●講師紹介●

三村義幸 (みむら よしゆき) 弁護士 (堂島法律事務所東京事務所)

1994年裁判官任官。福岡地方裁判所(民事)、東京地方裁判所(破産再生部)、預金保険機構(法務統括室長等)、千葉地方裁判所(建築部)、裁判所職員総合研修所(研修部長等)等の勤務を経て、2015年から、横浜地方裁判所(行政部裁判長)での3年間の勤務を挟み、通算5年間にわたり、東京高等裁判所(民事9部、15部)において民事控訴事件全般を担当。2023年に依願退官し、同年弁護士登録。堂島法律事務所東京事務所スペシャルカウンセラー。

松尾洋輔 (まつお ようすけ) 弁護士 (堂島法律事務所)

2006年弁護士登録。堂島法律事務所パートナー(大阪事務所所属)。京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻 客員教授。2014年から2017年まで総合商社法務部に出向し、契約法務・ガバナンス関連法務等の業務に従事。帰任後は企業法務全般と訴訟業務を中心に取り扱いつつ、クライアント企業法務部の契約書レビューを総合的に支援する業務にも注力しており、日々多種多様な契約類型に触れている。

大川 治 (おおかわ おさむ) 弁護士 (堂島法律事務所)

1996年弁護士登録。堂島法律事務所パートナー(東京・大阪事務所兼務)。大阪大学大学院高等司法研究科兼任教員(学外)客員教授、与信管理士。企業法務全般を取り扱うほか、債権保全・回収、与信管理を専門分野の一つとし、これらの分野の講演・著作も積極的に行っている。

開催日程・開催場所・申込期限

◇本講は会場開催セミナーです◇

- 開催日程：2023年12月1日(金)14時～17時
- 開催場所：株式会社商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)
- 定員：40名(先着順) ● 申込期限：2023年11月30日(木) ● 受講料(1名分)：33,000円(税込)
※お申込方法等は、裏面をご覧ください。

講座開設の趣旨

- ◆将来のトラブル防止のために、各企業では、契約交渉、契約書作成の各場面で、リスク評価に基づいたリスクマネジメントの観点から、様々な工夫を凝らしています。その過程で企業法務の果たす役割は大きいのですが、果たして、いざ、訴訟となったときに、裁判官の目線では、企業のリスク評価、契約交渉のありよう、契約書の具体的な条項等はどのように認定、評価されるのでしょうか。
- ◆本セミナーでは長年に亘り判事として第一線で訴訟を担当してきた弁護士、企業法務部に出向し、法務部の「内側」を知る弁護士、そして、外部弁護士として、企業法務部からのご相談や訴訟案件の依頼を受けてきた弁護士が、契約交渉・契約書作成の勘所、裁判官に見える風景を具体的かつ実践的に解説し、パネルディスカッションでもう一步踏み込んだところを語り尽くします。

お申込要領・ご注意事項

- 受講のお申込みは、弊社HPの各セミナー案内画面からWEB上にてお申し込みいただくか、下記申込書に必要事項をご記入のうえFAX・郵便にてご送付ください。お申込みの受付後、請求書を郵送いたします。
- 受講料は、ご送付する請求書に従って、お振込みください。特にお申出のない限り、銀行の受領証をもって領収証にかえさせていただきます。なお、「振込手数料」等は、ご負担くださいますようお願いいたします。
- 講義資料等を別途郵送する旨をご案内しているセミナーについての講義資料等発送後は、キャンセルは一切お受けできません。ご送付する請求書に従ってお振込みください。
- ご記入の個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」に従って適切に取り扱います。
- 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーの受講をお断りいたします。
- 講義内容等または主催者の都合により、受講資格を制限させていただき、受講のお申込みをお受けできない場合がございます。
- 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の市中感染状況や感染症蔓延防止のための政府方針、また天変地異の発生等の諸事情によりセミナーの開催・配信を中止・延期する場合がございます。
- 会場での録音・撮影、パソコン・携帯電話の使用はご遠慮願います。
- 発熱、ひどい咳等体調不良の兆候がある場合は、セミナーへのご出席をお控えください。なお、受付時等に前記のような兆候が認められる場合、ご退室をお願いする場合がございます。
- 申込先 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2（日本橋フロント3階）
株式会社商事法務ビジネス・ロー・スクール（URL: <https://www.shojihomu.co.jp/>）
電話：03（6262）6761（ダイヤルイン） Eメール: law-school@shojihomu.co.jp

本セミナーの
案内画面 →



切り取らないでください

〈有料セミナー〉受講申込書

株式会社 商事法務 行

申込日: 2023年 月 日

FAX. 03-6262-6802

●お申込欄中、※印の部分は必須でご記入願います。

講座名:『契約をめぐるトラブルの対処法 ～その備えは、裁判所にどう映るか～』（受講料：33,000円（税込）1名分）

※社名	※住所	(〒 -)	
※部署名:	※TEL.	- -	
業種:	※受講者名	※受講者のEメールアドレス	社歴等(端数切上) 入社後 実務経験
			約 年 約 年
			今後のご案内の要否(注) 郵送希望 Eメール希望

(注) 本「受講申込書」ご記入の連絡先に、今後のセミナー案内等をすることを希望される方は、○で囲んでください。↑